

Oracle Direct Seminar



ORACLE®

試験対策ポイント解説 「Gold DBA11g」

日本オラクル株式会社

Oracle Direct



アジェンダ

- ➡ ORACLE MASTER Oracle Database 11g 概要
- 「Gold DBA11g」試験紹介
- ポイント解説

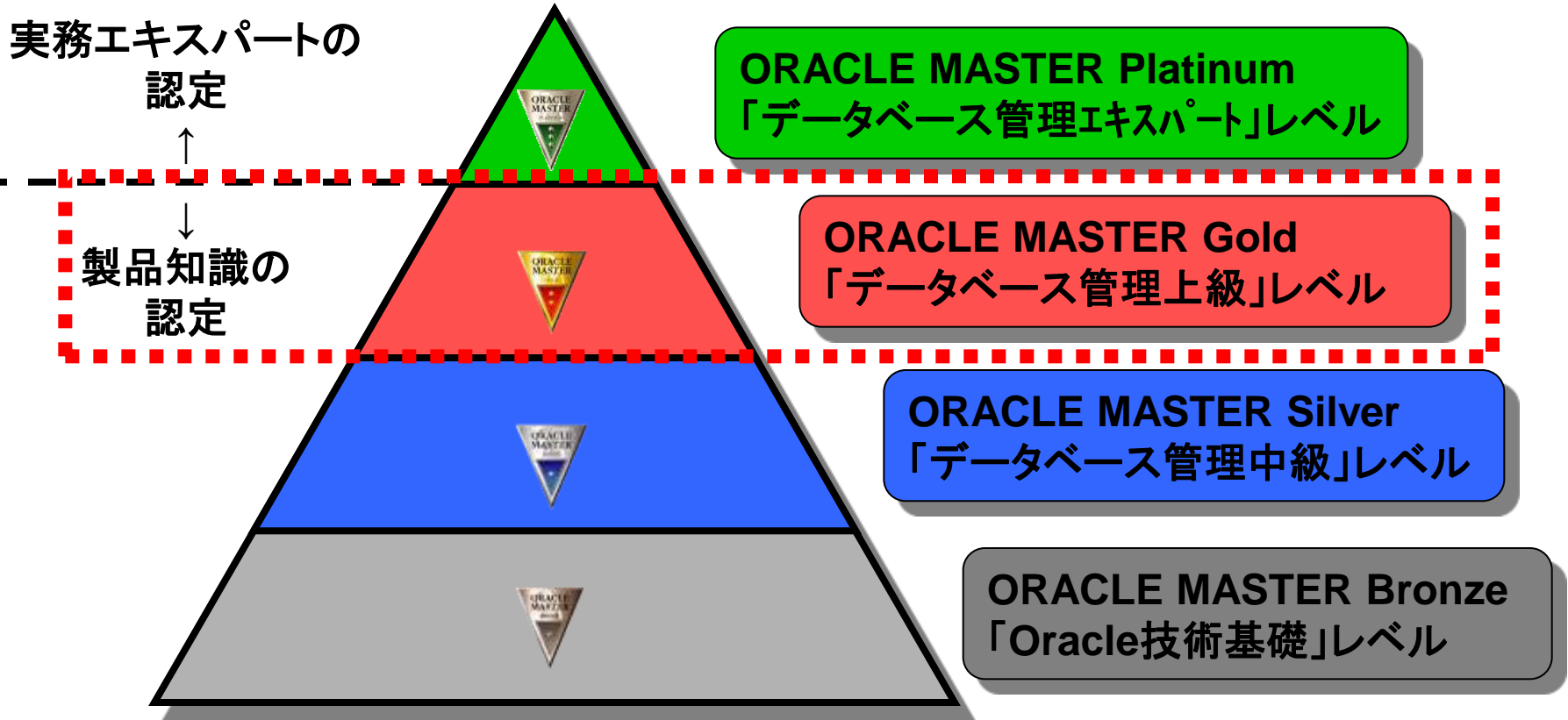
無償技術サービスOracle Direct Concierge

- SQL Serverからの移行アセスメント
 - MySQLからの移行相談
 - PostgreSQLからの移行相談
 - Accessからの移行アセスメント
- Oracle Database バージョンアップ支援
- Oracle Developer/2000 Webアップグレード相談
 - パフォーマンス・クリニック
 - Oracle Database 構成相談
- Oracle Database 高可用性診断
 - システム連携アセスメント
 - システムセキュリティ診断
 - 簡易業務診断
 - メインフレーム資産活用

<http://www.oracle.com/lang/jp/direct/services.html>

ORACLE

資格体系



各資格に必要な試験の種類

資格	試験	概要
 ORACLE MASTER Platinum Oracle Database 11g	実技試験	トップレベルのエキスパートとして幅広い技術力を駆使し、最適な構築、運用や、適切な障害対策が行えるレベル。 ▲エキスパート技術者、技術責任者 ▲プロジェクトリーダー
 ORACLE MASTER Gold Oracle Database 11g	Gold DBA11g	技術要素を全般的に理解する上級技術者として、状況に応じた手法の提案や、助言が行えるレベル。 ▲チームリーダー、 ▲小規模プロジェクトリーダー
 ORACLE MASTER Silver Oracle Database 11g	Silver DBA11g	基本的な技術を理解し、より高度な技術者のもとで実践的な作業を行うことができるレベル。
 ORACLE MASTER Bronze Oracle Database 11g	Bronze DBA11g 11g SQL 基礎 I	基本的なコンセプトの操作方法を理解し、より高度な技術者のもとで簡単な操作ができるレベル。 ▲各種プロジェクトメンバー、 ▲チームメンバー

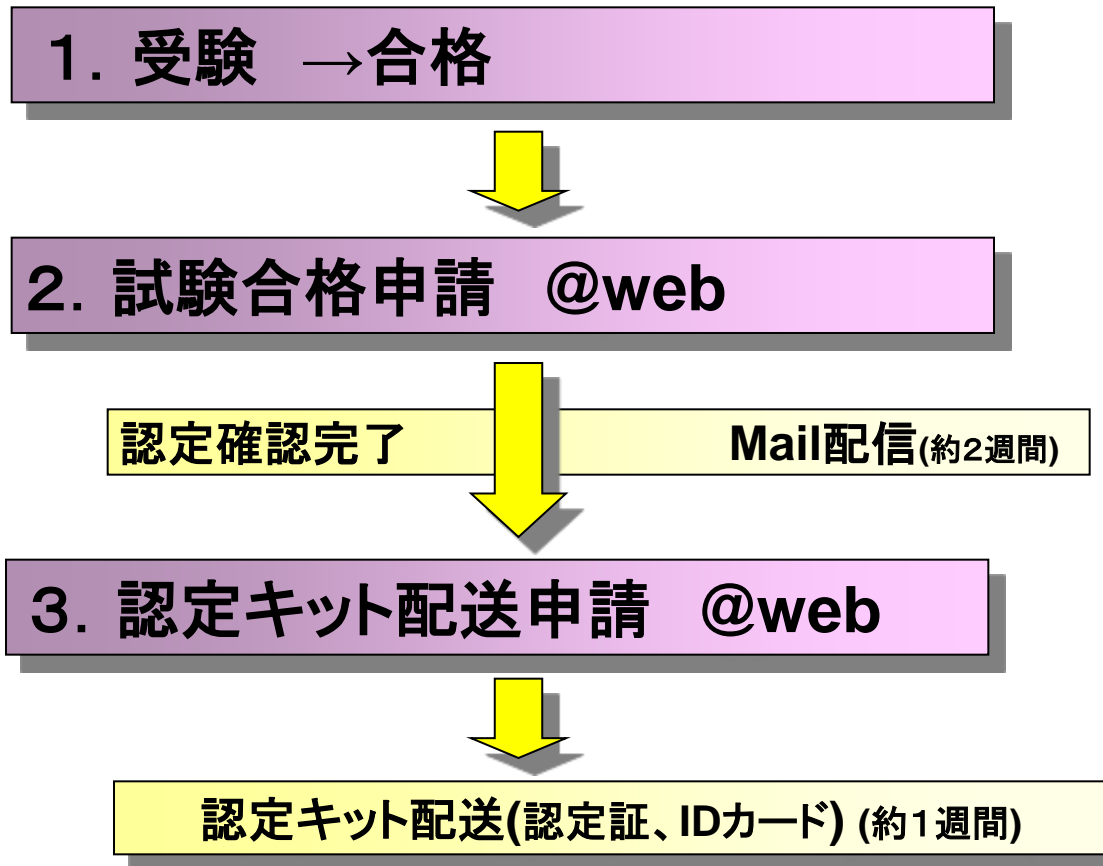
試験の受験方法/お申込み方法

- 受験方法
 - ピアソンVUE公認テストセンター
 - 団体受験 - 所属の企業・団体指定の会場(オンサイト試験)
- 試験のお申込み方法
 - <http://www.oracle.com/jp/education/certification/examinfo-172594-ja.html>
- 試験料 **¥22,260**(税込み)

資格認定フロー

- Web申請

<http://www.oracle.com/global/jp/education/certification/submit/>



アジェンダ

- ORACLE MASTER Oracle Database 11g 概要
- ➡ • 「Gold DBA11g」試験紹介
- ポイント解説

無償技術サービスOracle Direct Concierge

- SQL Serverからの移行アセスメント
 - MySQLからの移行相談
 - PostgreSQLからの移行相談
 - Accessからの移行アセスメント
- Oracle Database バージョンアップ支援
- Oracle Developer/2000 Webアップグレード相談
 - パフォーマンス・クリニック
 - Oracle Database 構成相談
- Oracle Database 高可用性診断
 - システム連携アセスメント
 - システムセキュリティ診断
 - 簡易業務診断
 - メインフレーム資産活用

<http://www.oracle.com/lang/jp/direct/services.html>

ORACLE

Gold DBA11g試験概要

Gold DBA 11g

- データベース管理上級レベル
- 効率的な運用に必要なパフォーマンス診断やチューニング、リソース管理およびリカバリの実施に関する知識を有する技術者認定
- Oracle Certified Professional (OCP)として世界的に認定
- 試験概要（2011年2月現在）
 - 試験時間 : 120分
 - 出題数 : 78問
 - 合格ライン : 66%

Gold DBA11g試験範囲

Gold DBA 11g

- データベース構造および自動ストレージ管理
- リカバリ可能性の設定
- RMANリカバリ・カタログの使用
- バックアップ仕様の設定
- バックアップ作成のためのRMANの使用
- ユーザ管理バックアップ/リカバリの実行
- リカバリ実行のためのRMANの使用
- データベース複製のためのRMANの使用
- 表領域Point-inTimeリカバリ(TSPITR)の実行
- RMANの監視とチューニング
- フラッシュバック・テクノロジーの使用
- 追加フラッシュバック操作
- データベースの診断
- メモリーの管理
- データベース・パフォーマンスの管理
- 領域の管理
- リソースの管理
- スケジューラを使用したタスクの自動化
- スケジューラの管理

アジェンダ

- ORACLE MASTER Oracle Database 11g 概要
- 「Gold DBA11g」試験紹介
- ➡ • ポイント解説

無償技術サービスOracle Direct Concierge

- SQL Serverからの移行アセスメント
 - MySQLからの移行相談
 - PostgreSQLからの移行相談
 - Accessからの移行アセスメント
- Oracle Database バージョンアップ支援
- Oracle Developer/2000 Webアップグレード相談
 - パフォーマンス・クリニック
 - Oracle Database 構成相談
- Oracle Database 高可用性診断
 - システム連携アセスメント
 - システムセキュリティ診断
 - 簡易業務診断
 - メインフレーム資産活用

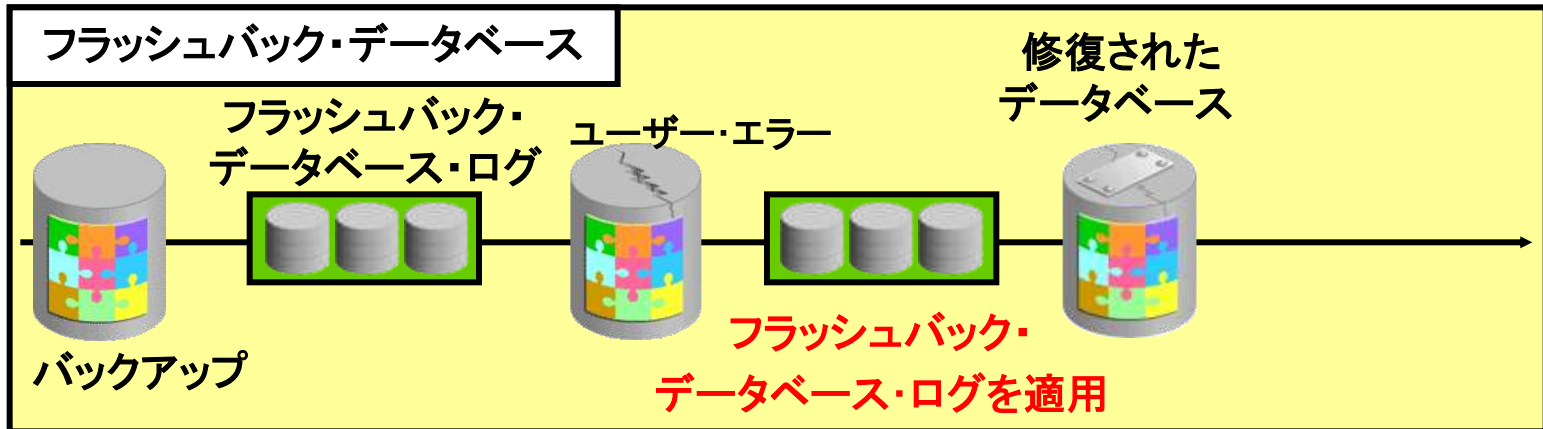
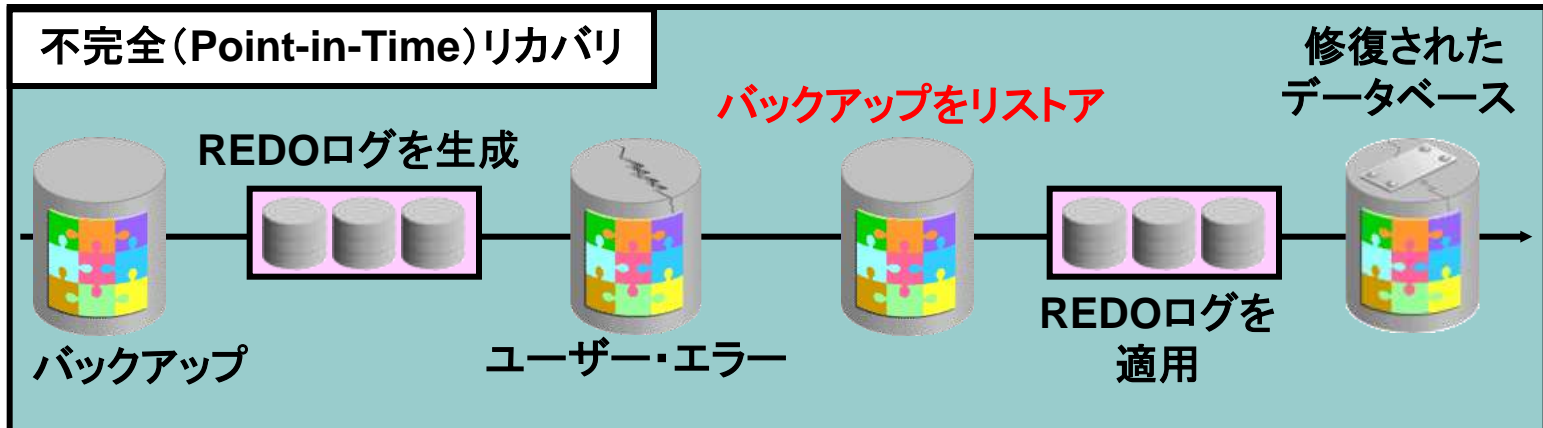
<http://www.oracle.com/lang/jp/direct/services.html>

ORACLE

ポイント解説範囲(1)

- フラッシュバック・データベース
- Recovery Managerの構成と使用
- データベースのリカバリ
- 自動記憶域管理
- メモリーの管理と監視

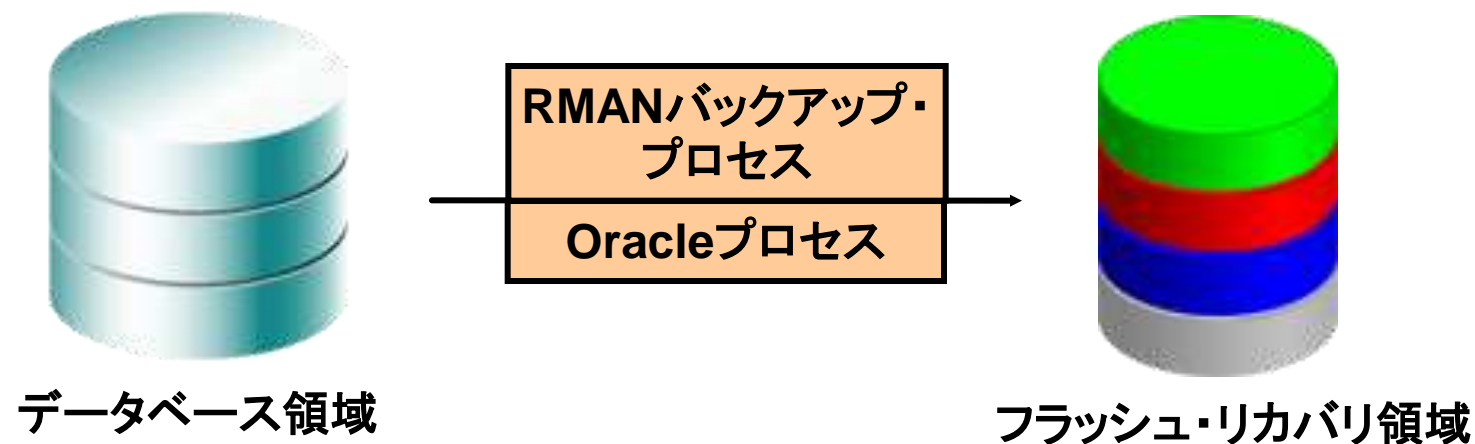
フラッシュバック・データベースの概要



フラッシュ・リカバリ領域の使用

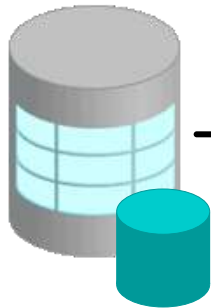
- フラッシュ・リカバリ領域

→フラッシュバック・データベース・ログおよびすべてのバックアップおよびリカバリ関連ファイルで使用される記憶域



DB_RECOVERY_FILE_DEST: 領域の位置
DB_RECOVERY_FILE_DEST_SIZE: サイズ

フラッシュバック・データベースの構成



1. フラッシュ・リカバリ領域の構成



2. 保存ターゲットの設定



3. フラッシュバック・データベースの有効化

1. `DB_RECOVERY_FILE_DEST`
`DB_RECOVERY_FILE_DEST_SIZE`

2. `SQL> ALTER SYSTEM SET`
`2 DB_FLASHBACK_RETENTION_TARGET=2880;`

3. `SQL> ALTER DATABASE ARCHIVELOG;`
`SQL> ALTER DATABASE FLASHBACK ON;`

↑データベースが **MOUNT EXCLUSIVE モード** の状態で実行

問題1

◆ フラッシュバック・データベースの有効化に関する記述で正しいのはどれですか。2つ選択してください。

- a. ALTER DATABASE FLASHBACK ON;コマンドを MOUNT EXCLUSIVEモードで実行する
- b. ALTER DATABASE FLASHBACK ON;コマンドを OPENモードで実行する
- c. データベースはARCHIVELOGモードで稼動している必要がある
- d. REDOログファイルが多重化されている必要がある

解答1

◆ フラッシュバック・データベースの有効化に関する記述で正しいのはどれですか。2つ選択してください。

- a. ALTER DATABASE FLASHBACK ON;コマンドをMOUNTモードで実行する
- b. ALTER DATABASE FLASHBACK ON;コマンドをOPENモードで実行する
- c. データベースはARCHIVELOGモードで稼動している必要がある
- d. REDOログファイルが多重化されている必要がある

問題2

◆ フラッシュバック・データベースを構成するための設定として、誤っている手順を1つ選択してください。

- a. 初期化パラメータ
DB_FLASHBACK_RETENTION_TARGETに値を
指定して、保存ターゲットを設定する
- b. ALTER DATABASE FLASHBACK ON;を実行し
フラッシュバック・データベースを有効にする
- c. ALTER DATABASE ARCHIVELOG;を実行して
ARCHIVELOGモードにする
- d. ALTER DATABASE ADD FLASHBACK LOGFILE;を
実行してフラッシュバック・ログを作成する

解答2

◆ フラッシュバック・データベースを構成するための設定として、誤っている手順を1つ選択してください。

- a. 初期化パラメータ
DB_FLASHBACK_RETENTION_TARGETに値を
指定して、保存ターゲットを設定する
- b. ALTER DATABASE FLASHBACK ON;を実行し
フラッシュバック・データベースを有効にする
- c. ALTER DATABASE ARCHIVELOG;を実行して
ARCHIVELOGモードにする
- d. ALTER DATABASE ADD FLASHBACK LOGFILE;を
実行してフラッシュバック・ログを作成する

問題3

◆ フラッシュバック・ログはどの領域に作成されますか。

- a. SGA
- b. DB_CREATE_FILE_DESTで指定したディレクトリ
- c. DB_RECOVERY_FILE_DESTで指定したディレクトリ
- d. ALTER DATABASE ADD FLASHBACK LOGFILE文で指定したディレクトリ

解答3

◆ フラッシュバック・ログはどの領域に作成されますか。

- a. SGA
- b. DB_CREATE_FILE_DESTで指定したディレクトリ
- c. DB_RECOVERY_FILE_DESTで指定したディレクトリ
- d. ALTER DATABASE ADD FLASHBACK LOGFILE文で指定したディレクトリ

ポイント解説範囲(2)

- フラッシュバック・データベース
- Recovery Managerの構成と使用
- データベースのリカバリ
- 自動記憶域管理
- メモリーの管理と監視

制御ファイルの自動バックアップ

```
RMAN> CONFIGURE CONTROLFILE AUTOBACKUP ON;
```

バックアップ設定

デバイス | バックアップ・セット | ポリシー |

バックアップ・ポリシー

- 各バックアップとデータベースの構成変更ごとに、制御ファイルおよびサーバー・パラメータ・ファイル(SPFIL)を自動的にバックアップ

自動バックアップ・ディスクの場所

制御ファイルおよびサーバー・パラメータ・ファイルがバックアップされる既存のディレクトリまたはディスクグループの名前。場所を指定しない場合、ファイルはフラッシュリカバリ領域の場所にバックアップされます。

最良の方法: オラクル社では、制御ファイルの自動バックアップを有効にすることをお勧めします。

問題4

◆ RMANの設定で制御ファイルの自動バックアップを有効にしています。制御ファイルの自動バックアップが実行される操作はどれですか。2つ選択してください。

- a. データベースの再起動
- b. 表領域のオフライン
- c. 表領域の追加
- d. RMANバックアップの正常終了

解答4

◆ RMANの設定で制御ファイルの自動バックアップを有効にしています。制御ファイルの自動バックアップが実行される操作はどれですか。2つ選択してください。

- a. データベースの再起動
- b. 表領域のオフライン
- c. 表領域の追加
- d. RMANバックアップの正常終了

問題5

◆ フラッシュ・リカバリ領域をバックアップするため、RMANで次のコマンドを実行しました。

```
RMAN> BACKUP RECOVERY AREA;
```

この結果として、バックアップされるファイルはどれですか。2つ選択してください。

- a. オンラインREDOログ・ファイル
- b. 増分バックアップ・セット
- c. 制御ファイルの自動バックアップ
- d. フラッシュバック・ログ

解答5

◆ フラッシュ・リカバリ領域をバックアップするため、RMANで次のコマンドを実行しました。

```
RMAN> BACKUP RECOVERY AREA;
```

この結果として、バックアップされるファイルはどれですか。2つ選択してください。

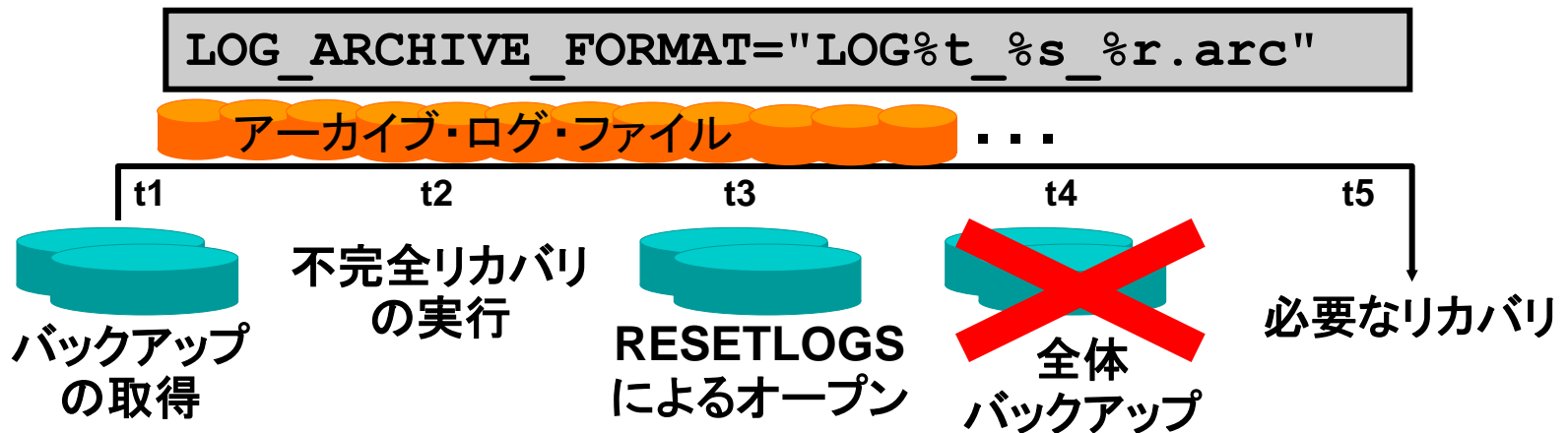
- a. オンラインREDOログ・ファイル
- b. 増分バックアップ・セット
- c. 制御ファイルの自動バックアップ
- d. フラッシュバック・ログ

ポイント解説範囲(3)

- フラッシュバック・データベース
- Recovery Managerの構成と使用
- データベースのリカバリ
- 自動記憶域管理
- メモリーの管理と監視

RESETLOGSを介した簡易リカバリ

- データベースは、RESETLOGS後すぐにオープン可能。
(全体バックアップを行う必要なし)
- RESETLOGSを介したリカバリは、次を実行した後に使用可能
 - 不完全リカバリ
 - バックアップ制御ファイルを使用したリカバリ



問題6

◆ Oracle Database 11gにおける不完全リカバリに関する記述で正しくないものはどれですか。1つ選択してください。

- a. すべてのデータ・ファイルをリストアする必要がある
- b. RESETLOGSオプションでデータベースをオープンする必要がある
- c. すべてのオンライン・データ・ファイルのSCNを一致させる必要がある
- d. 不完全リカバリ終了後、全体のバックアップを実行する必要がある

解答6

◆ Oracle Database 11gにおける不完全リカバリに関する記述で正しくないものはどれですか。1つ選択してください。

- a. すべてのデータ・ファイルをリストアする必要がある
- b. RESETLOGSオプションでデータベースをオープンする必要がある
- c. すべてのオンライン・データ・ファイルのSCNを一致させる必要がある
- d. 不完全リカバリ終了後、全体のバックアップを実行する必要がある

問題7

◆ RESETLOGSを介した簡易リカバリの実行に関連する、アーカイブ REDOログ・ファイル名のフォーマットを選択してください。

- a. %t
- b. %s
- c. %r
- d. %d

解答7

◆ RESETLOGSを介した簡易リカバリの実行に関連する、アーカイブ REDOログ・ファイル名のフォーマットを選択してください。

a. %t

b. %s

c. %r

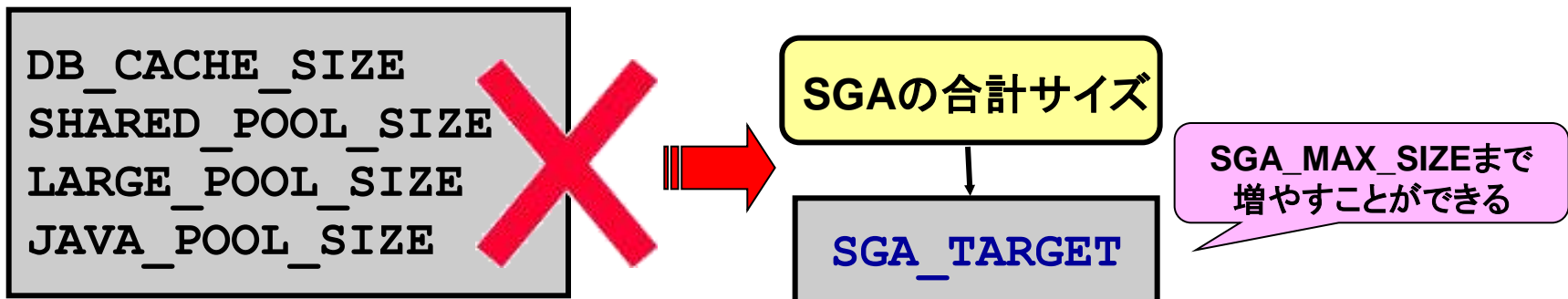
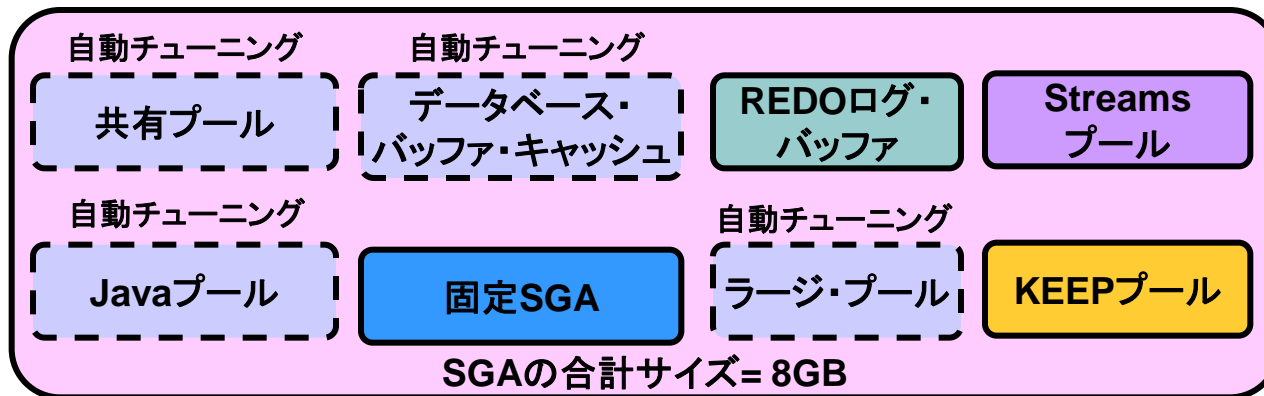
d. %d

ポイント解説範囲(4)

- フラッシュバック・データベース
- Recovery Managerの構成と使用
- データベースのリカバリ
- 自動記憶域管理
- メモリーの管理と監視

自動共有メモリ管理

- ワークロードの変化に自動的に対応
- メモリー使用率を最大化
- メモリー不足エラーの解消に寄与



問題8

◆ 自動共有メモリ管理を有効にするための初期化パラメータを1つ選択してください。

- a. SGA_MAX_SIZE
- b. SHARED_POOL_SIZE
- c. SGA_TARGET
- d. AUTOMATIC_SHARED_MEMORY

解答8

◆ 自動共有メモリ管理を有効にするための初期化パラメータを1つ選択してください。

- a. SGA_MAX_SIZE
- b. SHARED_POOL_SIZE
- c. SGA_TARGET
- d. AUTOMATIC_SHARED_MEMORY

問題9

◆ 自動共有メモリ管理による調整の対象となるメモリ領域を3つ選択してください。

- a. データベース・バッファ・キャッシュ
- b. REDOログ・バッファ
- c. 共有プール
- d. ラージ・プール

解答9

◆ 自動共有メモリ管理による調整の対象となるメモリ領域を3つ選択してください。

- a. データベース・バッファ・キャッシュ
- b. REDOログ・バッファ
- c. 共有プール
- d. ラージ・プール

チェックリスト

<http://www.oracle.com/jp/education/certification/examlist-172597-ja.html>

はじめに 認定パス 試験情報 資格取得者向け情報 サポート 試験申し込みと受験

オラクル認定資格制度

認定試験一覧

試験番号をクリックして詳細をご確認いただけます。

¹パートナー様限定のコースとなります。詳細は、[Oracle PartnerNetwork Japan](#)にてご確認ください。

²本コースは現在定期開催しておりません。開催を希望される方は[リクエスト](#)をお願いします。

³本コースでは弊社サポート サービス本部の発行するCSI (Customer Support ID)をお持ちの方のみ開示できる内容を含んでおります。ご参加に当たってはcsi番号が必須となります。csiについてはサポート・サービスに関するFAQをご参照ください。

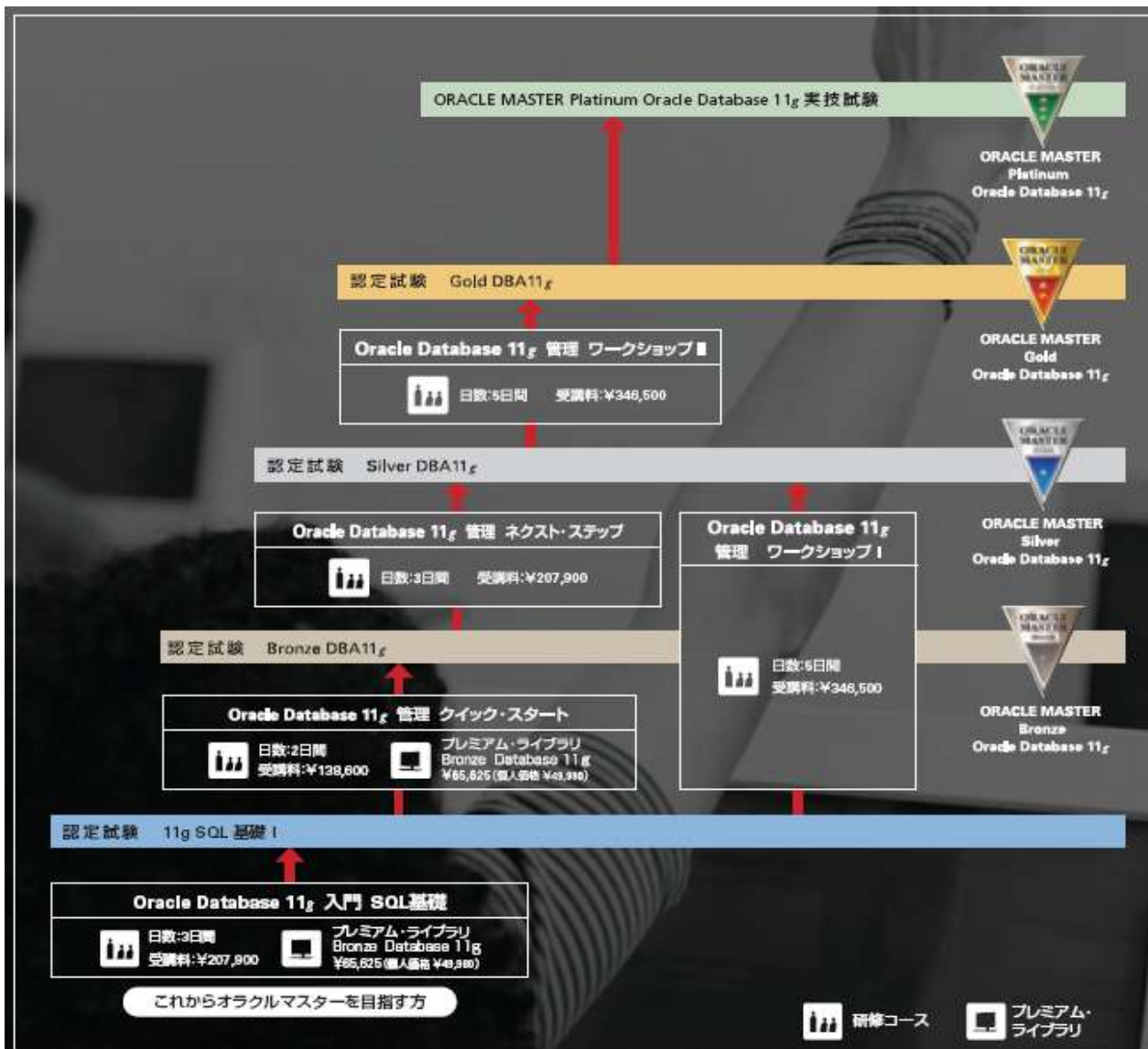
⁴このほか、試験受験時刻は受験契約の同意やアンケートのための時間(15~30分以内)が必要です。

⁵この試験では2つのセクションがあります。合格するためには両方のセクションの合格ラインを上回る必要があります。

Database Middleware Applications

試験番号	試験名	試験内容	試験時間	出題数	合格率	おすすめ研修コース	試験申込み
1Z0-011J	SQL	チェックリスト	40分 ¹	20問	70%	Oracle9i入門 SQL編 プレミアム・ライブラリ	
1Z0-012J	Oracle入門	チェックリスト	40分 ¹	20問	70%	Oracle9i入門 データベース編 プレミアム・ライブラリ	
1Z0-017J	Bronze SQL基礎I	チェックリスト	90分 ¹	40問	70%	Oracle Database 10g 入門 SQL基礎 I プレミアム・ライブラリ	
1Z0-018J	Bronze DBA11g	チェックリスト	75分 ¹	48問	60%	Oracle Database 11g 管理 クイック・スタート プレミアム・ライブラリ	
1Z0-030J	Oracle9i 新機能	チェックリスト	90分 ¹	53問	69%	N/A	
1Z0-031J	Oracle 9i DBAI	チェックリスト	90分 ¹	60問	73%	Oracle9iデータベース管理 I 前編 Oracle9iデータベース管理 I 後編 プレミアム・ライブラリ	

対応研修コース



ステップアップにおすすめの研修はこちら！

Oracle Database 11g: 管理 クイック・スタートをご受講されていない方は・・・

Silver取得
対策に

Oracle Database 11g 管理 ワークショップ I

受講期間 5日間 定価 ¥346,500(税込)

- 大規模なデータベースを管理するために必要なインストールから、バックアップ/リカバリまでを習得できます。このコースは、Oracleデータベースのプロフェッショナルとして成功するための第一歩であり、Oracle Database 11gのデータベース管理の基礎を固めることができます。
- コース修了時には、Oracleデータベースのアーキテクチャを理解し、各コンポーネントがどのように動作し、どのように相互作用するのかを理解できるようになります。また、構築したデータベースを適切に管理できるように、パフォーマンスの監視、セキュリティ、ユーザー管理、バックアップ/リカバリも習得できます。豊富なマシン演習を通じて、各トピックの理解を深めることもできます。

必要とされる前提コースまたは前提知識:

「Oracle Database 11g 入門 SQL基礎 I」

【注意】

「Oracle Database 11g 管理 ワークショップ I」の達成項目は、「Oracle Database 11g 管理 クイック・スタート」および「Oracle Database 11g管理 ネクスト・ステップ」の両コースを受講した場合と同等です。

【お申込み】 日本オラクル株式会社 Oracle University <http://www.oracle.com/jp/education/>

【お問合せ】 Tel : 0120-155-092

ORACLE

ステップアップにおすすめの研修はこちら！

Gold取得
対策に

Oracle Database 11g 管理 ワークショップ II

受講期間 5日間 定価 ¥346,500(税込)

- 大規模なデータベースを管理するために必要な、様々な障害に応じたリカバリ方法や、パフォーマンスの向上とその監視方法を習得できます。プロフェッショナルなOracle技術者へとステップアップするために、データベース管理技術を深めることができます。
- RMAN、SQLおよびフラッシュバック・テクノロジーを使用して、様々な方法でデータベースのリカバリを行ないます。また、データベース・パフォーマンスを向上させるためのステップと、それを監視するツールも説明します。さらに、Resource Manager、スケジューラ、Automatic Storage Management (ASM) など各種のデータベース・テクノロジーの使用方法も学習します。Oracleデータベースを多言語アプリケーション用に構成する方法も学習します。

必要とされる前提コースまたは前提知識:

「Oracle Database 11g 入門 SQL基礎 I」

「Oracle Database 11g 管理ワークショップ I」

【お申込み】 日本オラクル株式会社 Oracle University <http://www.oracle.com/jp/education/>

【お問合せ】 Tel : 0120-155-092

ORACLE

ORACLE eラーニング・サービス
プレミアム・ライブラリ

各コース ¥57,015 / 180日間

個人購入限定版 ¥49,980 /
180日間 (税込価格)



オラクルマスター Bronze Database 11g

<http://www.oracle.com/global/jp/education/plibrary/>

→ 無料体験・購入もこちら

ORACLE

ORACLE MASTERの情報収集に！

Oracle University eNews Letter

Oracle Universityが世界に通じる技術と資格の最新情報をお届けします！

ORACLE UNIVERSITY
Oracle University
eNews Letter
2007 November vol.50

特集 | News & Event | 研修コース | 認定資格制度 | eLearning | TRY! ORACLE MASTER | プレゼント

ORACLE MASTER Platinum取得者が凄いと評判の Oracle Database 11g新機能発表！
～Platinum Club限定「Oracle Database 11g新機能概要セミナー プレビュー会」～

10月上旬に、ORACLE MASTER Platinum認定コミュニティ「Platinum Club」を
会員限定でOracle Database 11g新機能発表セミナーの先行プレビュー会を実施
しました。

「新しい機能を多く知ることで、大変な思いになりました。」
「他のOracle Database 11gセミナーよりも詳細な点が良かったです」
と非常に好評、手紙返すの方向も「期待以上の内容だった」と感想を寄せま
した。

ORACLE MASTER Platinum取得者が凄いと評判の
Oracle Database 11g新機能TOP3

セミナーで紹介されたOracle Database 11g新機能の数々。その中でPlatinum取得者が「凄いいい！」「面白いいい！」と思った機能の
Top3です。

Linux関連
新コース
登場

キャンペーン
実施中!

アクセスランキング
Vol.49(0007)106番人気
高のあった記事をご紹介

1. ORACLE MASTER
Platinum(10%)

注目の研修コースや、認定資格制度などスキルアップに役立つ情報を豊富に掲載。

さらに、お得なキャンペーン情報、プレゼントなどの特典もお楽しみ頂けます。

- イベント、お得なキャンペーン情報
- オラクル製品の最新情報や対応研修コースのご紹介
- ORACLE MASTERやその他認定資格の最新情報
- 学習効果の高いORACLEのeラーニング情報
- 解説付き模擬試験「Try! ORACLE MASTER」
- Oracle University特製グッズプレゼント

お申込方法

<http://www.oracle.com/global/jp/education/promotion/enewsletter.html>

ORACLE

OTN×ダイセミ でスキルアップ!!



- ・技術的な内容について疑問点を解消したい！
- ・一般的なその解決方法などを知りたい！
- ・ 세미나資料など技術コンテンツがほしい！

Oracle Technology Network(OTN)を御活用下さい。

<http://otn.oracle.co.jp/forum/index.jspa?categoryID=2>

技術的な疑問点は、OTN揭示版の
「データベース一般」へ

※OTN揭示版は、基本的にOracleユーザー有志からの回答となるため100%回答があるとは限りません。
ただ、過去の履歴を見ると、質問の大多数に関してなんらかの回答が書き込まれております。

<http://www.oracle.com/technology/global/jp/ondemand/otn-seminar/index.html>

過去の 세미나資料、動画コンテンツはOTNの
「OTNコンテンツ オン デマンド」へ

※ダイセミ事務局にダイセミ資料を請求頂いても、お受けできない可能性がございますので予めご了承ください。
ダイセミ資料はOTNコンテンツ オン デマンドか、セミナー実施時間内にダウンロード頂くようお願い致します。

ORACLE

OTNセミナー オンデマンド コンテンツ

期間限定にて、ダイセミの人気セミナーを動画配信中!!

ダイセミのライブ感はそのままに、お好きな時間で受講頂けます。

<http://www.oracle.com/technology/global/jp/ondemand/otn-seminar/index.html>

最新のコンテンツ

 <p>エンジニアのためのITIL実践術 再生時間: 60分</p>	 <p>ここからはじめよう Oracle PL/SQL入門 再生時間: 60分</p>	 <p>実践!!高可用システム構築 -RAC基本 再生時間: 60分</p>	 <p>お悩み解決! Oracleのサイジング 再生時間: 60分</p>
---	--	--	--

Database

 <p>今さら聞けない!?バックアップ・リカバリ入 再生時間: 60分</p>	 <p>意外と簡単!? Oracle Database 11g -セ 再生時間: 60分</p>	 <p>実践!!バックアップ・リカバリ 再生時間: 60分</p>	 <p>意外と簡単!? Oracle Database 11g -デ 再生時間: 60分</p>
---	--	--	--

>> もっと見る

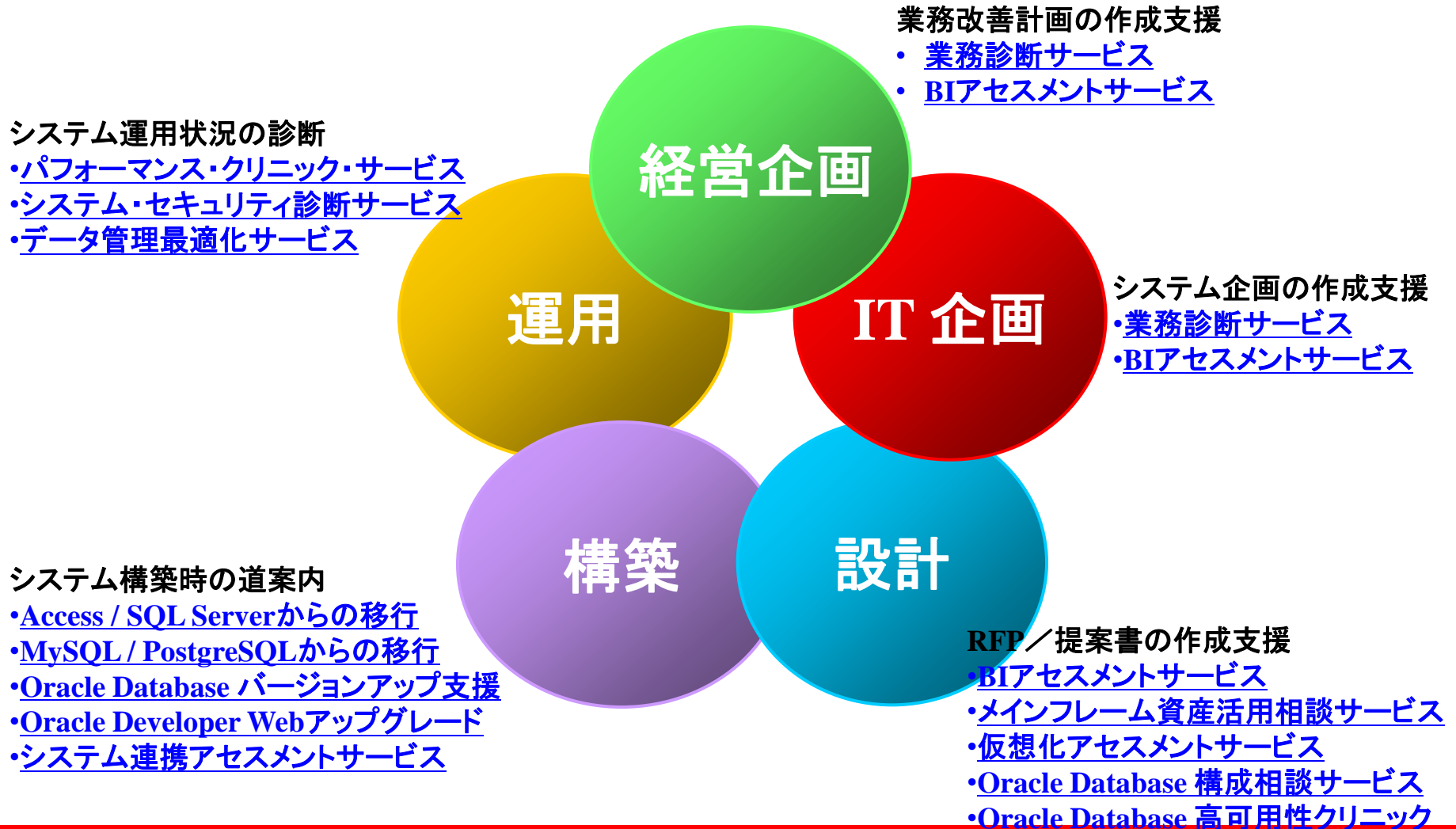
※掲載のコンテンツ内容は予告なく変更になる可能性があります。

いずれも期間限定での配信です。気になるコンテンツは早めにダウンロード頂くことをお勧めいたします。

ORACLE

ITプロジェクト全般に渡る無償支援サービス

Oracle Direct Conciergeサービスメニュー



ORACLE

あなたにいちばん近いオラクル



Oracle Direct

まずはお問合せください

Oracle Direct

検索

システムの検討・構築から運用まで、ITプロジェクト全般の相談窓口としてご支援いたします。
システム構成やライセンス/購入方法などお気軽にお問い合わせ下さい。

Web問い合わせフォーム

専用お問い合わせフォームにてご相談内容を承ります。

http://www.oracle.co.jp/inq_pl/INQUIRY/quest?rid=28

※フォームの入力には、Oracle Direct Seminar申込時と同じ
ログインが必要となります。

※こちらから詳細確認のお電話を差し上げる場合がありますので、ご登録されている連絡先が最新のものになっているか、ご確認下さい。

フリーダイヤル

0120-155-096

※月曜~金曜 9:00~12:00、13:00~18:00
(祝日および年末年始除く)

ORACLE



ORACLE®

以上の事項は、弊社の一般的な製品の方向性に関する概要を説明するものです。また、情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。以下の事項は、マテリアルやコード、機能を提供することをコミットメント(確約)するものではないため、購買決定を行う際の判断材料になさらないで下さい。オラクル製品に関して記載されている機能の開発、リリースおよび時期については、弊社の裁量により決定されます。

Oracle、PeopleSoft、JD Edwards、及びSiebelは、米国オラクル・コーポレーション及びその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標の可能性がります。

ORACLE®